

2025/7/29 お仕事発見隊 KKB 報道記者として取材しよう ～馬の獣医師の仕事～

「全ての生き物が元気に暮らせる地球へ」

4年 柴田 晴満

去年の12月に、僕が赤ちゃんの頃からずっと一緒にいらしてきた猫が亡くなりました。僕はこの時とても悲しくて、病気で苦しむ動物たちを助けたいと思い、じゅういしになることを決めました。ちょうどお仕事発見隊で、馬のじゅういしの仕事について学べることを知り、おうぼして参加しました。

鹿児島大学に行って、先生から、馬のじゅういしについてのお話をたくさん聞きました。馬のじゅういしの人数がとても少ないということにまず驚きました。犬や猫など全体のじゅういしは約4万人、そのうち馬のじゅういしは300人らしいです。かわいい動物だけではなく、人間の役に立っている動物達の病気を治すじゅういしの数も増えて欲しいと僕は思いました。馬がいないと産業もおとろえていき、SDGsでかかっている目標もむずかしくなっていくんじゃないかなと思いました。人も動物も、この地球で暮らし続けていけるように、これからも僕たちにできることを見つけてやっていきたいと思えます。